

行財政改革推進プラン

712件のご意見を
いただきました

これまでも行ってきた「市役所の仕事の進め方やお金の使い方・集め方の改革」を、平成23年度～26年度の4年間で一層進めていくための計画です。これまでいただいたご意見と、完成した計画の一部を紹介します。

【詳細】 改革推進部推進課 ☎211-2061

- ・パブリックコメント384件
- ・キッズコメント328件



財政の改革

491件

お金の使い方を見直し

- 事務費の節約や時間外勤務の縮減など市役所の内部努力によりコストを削減
- 効率的な職員配置などにより、人件費を削減
- 公共施設などの整備が進んだことから、公共事業は既存の施設の維持や管理へとシフトを図るなど、事業の選択と集中を考え、効率的に実施

収入の基盤を強化

- 税収の維持・拡大に向け、5万人規模の雇用を創出
- 市内中心部の再開発の支援などにより経済を活性化

寄せられたご意見

市民が所得を向上できるプランでなくては、希望も生まれません。行政は投資を呼び込むような施策を行うべき。

市の考え

第3次札幌新まちづくり計画の事業のほか、積極的な産業育成などで経済活性化を図ります。また、経済波及効果の高い都心部での再開発支援などで、民間投資を引き出し、魅力あふれる都心づくりを進めていきます。

- 収入の確保や負担の公平性の観点から、市税や国民健康保険料などの収納対策を強化

- 保育や児童クラブなどのサービスについて、利用する人としいない人の公平性を保ちながら持続していくため、利用者負担の見直しを実施



保育所の拡充など待機児童の解消に努めながら、サービスの持続を目指していきます

- 基金の活用や、利用が見込めない土地を売却するなどして、市の財産を有効に活用



行政の改革

221件※

※プラン全体に寄せられた意見数を含む

市民力を活かす市役所へ

- 表現方法や言葉遣いなどを工夫することで、誰にでも「伝わる」広報を推進し、市民との情報共有を強化

寄せられたご意見

市のパンフレットなどは市民に理解してもらおうという意思が感じられない。「手に取ってもらいやすいもの」「分かりやすいもの」を作ってほしい。

市の考え

情報の分かりやすい発信に努めていますが、ご意見を真摯に受け止め、例えばデザインを決める際は情報を受け取る方々（育児情報なら母親層など）のご意見を取り入れるなど、さまざまな手法を検討していきたいと考えています。

- 市民と市が直接対話する出前講座などの取り組みの認知度を向上させながら、対話の機会を充実させる

市長と市民が対話する「ふらっとホーム」では活発な議論が交わされます



- 市役所やコールセンターを通じて市に寄せられたご意見の市政への反映を強化
- 大学やNPOなどと連携しながら、地域のまちづくり活動の企画提案を募るなど、若者が地域活動に参加する機会や仕組みを充実させる

組織と仕事の見直し

- 地域の身近な活動拠点であるまちづくりセンターの場を活用した相談活動を充実させる
- 全まちづくりセンターでの住民票などの即日交付
- ICカード「サピカ」をバスや市電などへ導入